



子どもの権利に関する情報紙

37号

Titti

ちっ ちゃいけど
ちっ ちゃくくない



子どもは、それぞれが一人の人間で、自分らしく生きる権利、人として尊重される権利があります。それは、子どもおとなも同じこと。

「Titti (ちっちゃんいけどちっちゃんくない)」は、そんな思いを込めて作っています。

11月20日はかわさき子どもの権利の日



うんこドリル制作にむけたワークショップ開催!!



7月から8月にかけて市内3か所(ミュージア川崎、川崎市子ども夢パーク、麻生市民館)で「子どもの権利×うんこドリル ワークショップ」が行われました。

ワークショップでは最初に全員で子どもの権利について説明を受けた後、大人と子どもがそれぞれグループに分かれてカードゲーム形式で「7つの権利」について楽しみながら学びました。最後にグループでそれぞれの権利に関する自身のエピソードをグループで共有しました。

ワークショップで出たエピソードを参考に、現在「子どもの権利×うんこドリル」を制作しています。完成したドリルは来年度色々な場所で活用していきます。お楽しみに!



▼ワークショップの様子▲



ワークショップは盛り上がったぞい。うんこドリルは現在制作中じゃ!楽しみに待っているのじゃ!



川崎市子ども会議 ~子どもの声をおとなに届ける~



川崎市子ども会議では、毎月子どもたちが集まって、川崎市がもっとよくなるように、楽しく取り組んでいます。

昨年度は、川崎市ホームページにある「こどもページ」を、子どもが見たいと思うようにするため、自分たちでデザインやアイデアなどを考えて、市長に伝えました。なんと令和6(2024)年3月には、私たちの声が反映されたホームページにリニューアルされるそうです!

今年度は、「デジタル技術でかなえるミライの学校スタイル」について検討中です。夏休みには、大人とも話し合いを行うなど、今の社会をいっしょに生きているパートナーとして、私たちの声を届けています!



ミライの学校について話し合っている様子



HPについて話し合っている様子

『令和5年度 かわさき子どもの権利の日のつどい』

を開催しました!

川崎市子どもの権利に関する条例に定められている“かわさき子どもの権利の日（11月20日）”にちなみ、たくさんの方に子どもの権利について知ってもらうために、令和5(2023)年12月9日（土）高津市民館にて「かわさき子どもの権利の日のつどい」を実施しました。



子育てトークセッションの様子

大ホールでは、川崎市市民文化大使も務めているEXILE 松本利夫さんと福田市長の2人のパパによる子育てトークセッションを行い、松本さんの子育てを通して感じた幸せエピソードや、中々聞くことのない福田市長のパパとしての話を聞くことができました。

その他にも、映画「ペット」上映会や、【うんこドリル】とコラボした子どもの権利カードゲーム体験、出張ミニ子ども夢パーク、子どもの権利条約に関する書籍の展示やかるた体験など、様々な企画を楽しむ親子の姿がたくさんありました。



出張ミニ子ども夢パークの様子

第8期川崎市子どもの権利委員会 活動紹介

第8期子どもの権利委員会では、第6次子どもの権利に関する行動計画の評価と、令和5(2023)年夏に行ったヒアリング調査の結果についてまとめました。詳細については、ホームページにて公開しております。

行動計画評価 <https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000118006.html>



ヒアリング調査の結果 <https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000150625.html>

